

【講演会参加のご案内】

様

2013年2月、下村文部科学大臣は、高校授業料無償化の対象から朝鮮学校を外すことを決めました。大変悲しい決定であります。

現行の法制度では朝鮮学校を除外するための理由が見当たらないため、「拉致問題に進展がなく、教育内容などに朝鮮総連の影響があり、国民の理解が得られない」という理由をあげていますが、本音は、拉致問題の無策をかわすために朝鮮学校に責任転嫁しているだけです。

「拉致問題」や「朝鮮総連」という政治的理由に基づいて、未来ある子どもの教育に差別的取り扱いをすることは、国連人権規約の社会権規約（A規約）第13条、子どもの権利に関する条約第28条、人種差別撤廃条約、日本国憲法14条等を踏みにじる重大な人権侵害です。

さらに残念なのは、「無償化除外」が「全国各地の自治体による助成金凍結」を加速させ、新大久保（東京都）や鶴橋（大阪市）で、いわゆる「ヘイトデモ」が勢いづき、民族差別が公然と行われているにもかかわらず、たやすく容認している「世間の風潮」です。今まさに、私たち一人一人の偏見と差別に立ち向かう姿勢と、成熟した人権意識が問われています。

2013年8月1日、広島朝鮮学園と広島初中高級学校の卒業生が原告になり、「無償化」裁判を広島地裁に起こしました。裁判でしか民族差別を問えない現状を日本人として悲しく思います。このたび、朝鮮学校への理解を深め、子どもたちへの支援を広げるため、広島朝鮮学園 韓政美（ハンジョンミ）理事長を迎え、朝鮮学校の素顔と「無償化」裁判の経過報告を聞く会を企画しました。

他民族・他文化にたいする偏見と差別を無くし、民族教育を尊重することが豊かな多文化共生社会を創る第一歩と思います。私たち市民一人一人が、自らの人権意識を高めるために、共に手をつなぎ前に進みたいと考えます。

是非参加下さい。皆さんとお話できるのを楽しみにしています。

テーマ：『朝鮮学校の歴史に学ぶ』

日時：2014年1月26日（日）13：00～

場所：市民活動センター（スティック）201 研修室

講演：「朝鮮学校と私」

講師：韓政美（ハンジョンミ）広島朝鮮学園理事長

報告：「無償化」裁判の内容と経過報告

主催：人権パッチギの会 松江